

徳島県社会教育委員会議の提言概要

提言テーマ「防災でつながる地域の絆」

～学校・家庭・地域の連携ですすめる防災生涯学習について～

【提言要旨】

徳島県社会教育委員会議では、これまで生涯学習及び社会教育の重点施策として取り組んできた学校・家庭・地域の連携をさらに深化させるとともに、東日本大震災の教訓をふまえ、徳島ならではの「防災生涯学習」を確立するため、「防災でつながる地域の絆」～学校・家庭・地域の連携ですすめる防災生涯学習～をテーマに協議を行ってきた。

そして、「防災生涯学習」のあり方について、「学校・家庭・地域の連携ですすめられる」「地域連携のキーパーソンが存在し、防災生涯学習が推進される」など4つの定義にまとめ、「防災生涯学習」を推進していくための具体的な取組を提言している。

【提言内容】

1 防災生涯学習のあり方

- (1) 学校・家庭・地域の連携ですすめられる。
- (2) 地域連携のキーパーソンが存在し、防災学習が推進される。
- (3) 防災学習を通じて地域間及び世代間の交流が行われる。
- (4) 地域の特性や各年代層に応じた防災学習が展開される。

2 「防災生涯学習」を推進するための具体的な取組

- (1) 学校・家庭・地域の連携による教育支援体制の更なる推進
→学校サポーターズクラブや学校支援地域本部の設置を推進し、教育支援体制の充実を図ることが地域防災につながる。
- (2) 地域のキーパーソンとなる人材の養成
→県や市町村において防災・減災のまちづくりをコーディネートしていく人材の養成が必要である。
- (3) 社会教育主事（有資格者）が防災・減災のまちづくりを牽引する。
→社会教育主事やその有資格者は、行政関係者や教職員に多く、学校教育と社会教育の両方に専門知識を有しているので、防災学習の推進や避難所運営で重要な役割を果たすことが期待される。
- (4) 地域の実情に応じた防災学習の展開
→各地の実情に応じた防災キャンプの実施を働きかけていく。
- (5) 「防災」をテーマとした地域間交流や世代間交流を推進する。
→子どもから高齢者までが参加できるような防災イベントを実施し、地域住の絆を強める。
- (6) 各年代層に応じた防災学習を展開する。
→防災体験を中心とした防災学習の実施や子どもから高齢者に至るすべての人々が、地域の実情や各年代層に応じた防災学習を展開する。

「徳島県社会教育委員」名簿

(委嘱期間：平成23年7月1日～平成25年6月30日)

番号	氏名	所属
1	秋成 ふみよ	徳島県婦人団体連合会副会長
2	行野 由美子	徳島県PTA連合会副会長
3	石堂 真道	徳島県立城南高等学校長
4	岡田 啓	海陽町海南小学校長
5	上村 昌司	公募委員
6	黒田 尚美	阿波市社会福祉協議会
7	◎阪根 健二	鳴門教育大学大学院教授
8	○鈴木 尚子	徳島大学大学開放実践センター准教授
9	津守 美鈴	美馬市立脇町中学校長
10	中 洋子	「とくしまお話を語る会」会長
11	萩原 秀信	NHK徳島放送局長
12	原田 幸	徳島県青年連合会副会長
13	美馬 義明	阿南市社会教育委員長
14	横尾 淳子	公募委員
15	渡邊 浩一	徳島県公民館連絡協議会会長

◎：委員長

○：副委員長